

本計画対象地の住民生活状況



チャーシーシュ村小学校

コーカン語とミャンマー語に別れて2部制の授業を実施している。生徒数はコーカン語教室79名・ミャンマー語教室38名(2部制)である。教室に電気は無く授業は不便を強いられている。



チャーシーシュ村放送

未電化地域ではあるが、灌漑用水利用の水車発電機から発生した、わずかな電力による放送設備。このように農民が工夫して完成させた100~200W程度の発電設備により、ビデオ上映や公共設備などを完成させており、電気への期待は高い。



灌漑用水を利用した発電の様子

灌漑用水を利用し、市販の水車発電機から100Wを発電している様子。このような村民が独自に建設したマイクロ水力発電所はいくつか見られ、電気に関する知識の高さが判る。写真はチャーシーシュ村。



ターシェータン村の様子

5日毎に行われる「五日市」で賑わうターシェータン村の繁華街。ラウカイ市のコーカン変電所からの配電線によって現在このターシェータン村まで電化されている。本計画では同村から計画地へ配電線を延長する。



対象村落の様子(1)

3世帯15人が暮らす、ある農家の子供。この地方ではケシ栽培が伝統的に行われており、ケシで作った「コマ」で遊ぶ。ケシ撲滅運動が推進されているが、山間部の農村では現在でもケシの栽培が行われている。



対象村落の様子(2)

生活用照明は石油ランプである。燃料代は人数の多い家庭で月に約40元(約600円)となる。

既存の設備・機材の状況



ロンチン水力発電所建屋

落差約 300m を利用して 2 台の水車により合計 640kW が発電可能。下流に第 2 ロンチン建設の為、手前は導水路の工事が行われている。



コーカン変電所屋外変電設備

この変電所から 32km の距離に中国のチンカン発電所がある。チンカン発電所からは 35kV 送電線 1 回線により受電している。主変圧器は 1 台であるが、将来用として 1 台増設が可能なスペースがある。



コンクリート柱の配電線

ラウカイ町内では一般的にコンクリート柱の配電線が使用されている。本計画で車両通行が可能な地点ではコンクリート柱を適用する予定である。



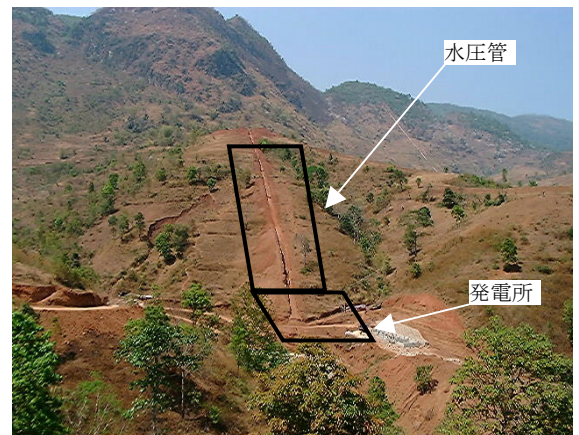
組立鋼板柱

組立鋼板柱は分解して運搬が可能なので、山間部に適用される予定。ただし現地で使用されているものは、接続部の剥離や錆びが発生するなど、品質上の問題が多く見られる。



一般用電力量計

一般家庭や商店に取り付けられている中国製の電力量計。



建設中のロンチン第 2 水力発電所

2001 年初めに着工し建設中のロンチン第 2 発電所。土木関連工事は 2001 年中に完成予定。大半を中国労働者により工事を実施しているが、危険区画表示や掘削面の保護などの安全対策に問題がある。